

マスクで顔が見えないコロナ禍、全国の「転校生」への支援

私たち一般社団法人TENKIN LABは、転校生を応援する「転校生支援プロジェクト」の活動を行っています。

3月は多くの企業で転勤辞令が出るため、転校生の多くは4月から新しい環境に飛び込んでいくこととなります。しかしながら、コロナ禍は、これまで以上に転校生にとって困難な状況を生みだしています。転校生支援プロジェクトを進める中で、周りの大人が転校生の立場を理解することで、転校生の気持ちやその後の過ごし方に大きな違いがでることがわかってきました。

ぜひ、御メディアで取り上げていただくことによって、4月に全国で頑張る「転校生」への理解が多くの方に広まることを願っています。ご検討の程をよろしくお願いいたします。

転校生支援プロジェクト

親の転勤やその他諸事情で転校をする子どもたち。そうした子どもたちは新しい環境に一人で飛び込んでいくことになる。転校をきっかけにいじめにあたり、不登校になったという話も聞く。その一方で「転校によかった」と成長の機会にできた人もいる。転校が本人や親たちにあたえる影響はとて多大さい。しかし、これまで転校に関する支援はほとんどなかった。「転校」を上手く乗り切り、よい「転機」にできる方法があるのなら、その法則を導きだして多くの親子にシェアしたい。それはきっと、入学や進学など新しい環境に飛び込んでいくすべての子どもへのヒントにもなりえるから。転校を「研究」し成果をシェアしながら、転校生同士やその親同士を「つなげる」ことに取り組みきたい。TENKIN LABが支援プロジェクト立ち上げます！

プロジェクトへの
お問い合わせや参加、
連絡情報はコチラから

プロジェクト内容

- 1 アンケート＆インタビュー調査**
経験・知見・困りごとの情報を収集するためにWEBアンケートを実施。さらに、転校経験談・エピソード、心影事などを収集するために、転校経験者や、転校生の親、転校生を受け入れたことのある教員に、これから転校を迎えている子の親などにインタビューの協力をお願い。
- 2 文献調査**
先行文献、書籍で研究をしつつ、仮説を立てて転校生生活アンケート「転校生の巻(仮)」を作成する。転校に関する書籍や転校生などは、都度情報のシェアもして行く。(※文脈:「新しい出会いを求めて」小泉孝三著 北沢啓博)
- 3 「転校生の巻(仮)」& 「転校生パスポート」制作**
これまでの調査を含め、転校生が転校をうまくのりきるためのコツや転校生の親の心構えと子どものケアポイントなどをまとめた「転校生の巻(仮)」をはじめ、転校生受け入れ先とのコミュニケーションをとるためのシート「転校生パスポート」を制作(サイトから無料ダウンロード可)。
- 4 オンラインワークショップの開催**
2022年2月-3月開催
転校生応援テキスト「転校生の巻(仮)」を使用し、「生きる力」教育の関連団体を講師に迎え講座を行う。コツを伝えると同時に、悩みや体験のシェアも重視。オンラインだからこそも同じ立場の子も同士が出会い「自分ひとりではない」という気持ちを持ち共有。親対象のワークショップも開催。
- 5 動画制作**
当日ワークショップに参加できなかった子どもや、この転校生を応援している大人(親・教師・第三者)がいること「転校仲間が自分以外にもいること」が伝わる内容。「今度転校することになった」というときに一番初めに目にする情報に。

主催: TENKIN LAB 一般社団法人TENKIN LAB
このプロジェクトは「**心豊かな社会をつくるための子ども教育財団**」の助成(2021年度)を得ておこなっております。

【転校生とは】

子どもが転校する理由は、親の転勤、災害からの避難、家族状況の変化など理由は様々。

転校をきっかけにいじめにあたり、過去には悲しいことに自殺に追い込まれたという事件もありました。

本プロジェクトでは、小学生を対象としていますが、小学生に限らず中学高校まで多くの子どもが新しい環境にたった一人で飛び込んでいくという状況が生まれています。

転校生の総数に関しては調査がなく、正確には把握できていないのが現状です。しかし、親の転勤の場合だけを考えてみても、従業員が1000人以上の企業の89.8%において転居を伴う異動があるという調査がありますので、その数の多さが予想できます。

※「企業における転勤の実態に関するヒアリング調査 2016」

【コロナ禍における転校生の苦悩】

- ・マスク着用により新しい環境で人の顔が覚えにくい、新しい土地の言葉が聞き取りづらい
- ・学校行事の縮小、給食の黙食、児童同士の接触の回避により、新たな関係性を構築しにくい
- ・家庭により感染症への考え方の違いから放課後などにも遊びにくい
- ・親や先生、周りの大人にも余裕がなく転校生のケアまで気が回らない
- ・地域間の移動への偏見

などがあります。転校生はこれまでもたった一人で頑張って乗り越えてきたケースが多いのですが、このコロナ禍でこれまで以上の苦勞をしいられています。

【転校生プロジェクト概要】 <https://tenkin-note.com/content/2234>

転校経験者に協力をいただいたアンケート調査をもとに、下記の3点について取り組んでおります。

- ① 当事者（転校生）同士の交流 →オンラインによるワークショップ開催 2回
- ② 転校生の親への支援 →オンラインによるワークショップ開催 2回
- ③ 学校の先生へのアプローチ →親から先生へ渡す「転校パスポート」の作成
どなたでもサイトからダウンロード、記入して利用可能

「転校パスポート」の作成には、福岡教育大学名誉教授の小泉令三先生にご協力いただきました。



[3/4開催 ワークショップの様子]



[使っていただきたい転校パスポート]



[小泉令三先生]

【転校生支援プロジェクト】

主催：一般社団法人 TENKINLAB <http://www.tenkin-lab.com/>

助成：一般社団法人心豊かな社会をつくる子ども教育財団（2022年度事業）

<http://kystk-zaidan.com/>

対象：全国の転校生と、それをとりまく大人の方（親、先生、地域）

【連絡先】

一般社団法人 TENKINLAB 理事 利根川美海

メール：fumi.tonegawa@gmail.com

又は、フェイスブックメッセンジャー：「利根川美海」宛てにご連絡をお願いします。